

MB021071

病弱児指導論

Teaching Theory for Children with Infirmity

夜間（1年）クラス

担当教員 石倉 健二

単位数 2

単位区分 選択, 選必

開講学期 前期

開講曜日時限 月曜日6時限

授業方法 講

標準履修年次 1年

備考

【授業の目標及び期待される学習効果(授業のテーマ及び目標)】

以下のことを授業の目標とする。

- ①病弱児教育の対象となる疾患等について自分で調べて、基本的な理解ができる。
- ②病弱児の指導や支援に必要なことの概要について理解する。
- ③病弱児の指導計画を考えることができるようになる。

【授業の内容・計画】

- 《第1週》 授業オリエンテーション、病弱・身体虚弱児教育の歴史と定義
- 《第2週》 病弱教育の教育課程
- 《第3週》 各種計画及び事例提供
- 《第4週》 病弱教育における自立活動及び医療的ケア等について
- 《第5週》 病弱教育における教科指導、進路指導及び前籍校への復学
- 《第6週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援① ー遺伝性疾患、染色体異常、及び疾患等についての調べ方
- 《第7週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援② ー内分泌疾患、アレルギー疾患、代謝異常・代謝疾患
- 《第8週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援③ ー感染症、呼吸器疾患、循環器疾患
- 《第9週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援④ ー消化器疾患、血液・循環器疾患、腫瘍性疾患
- 《第10週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援⑤ ー腎泌尿器疾患、神経疾患、神経・筋疾患
- 《第11週》 代表的な疾患の基礎的知識と教育的支援⑥ ー精神疾患、心身医学的問題
- 《第12週》 通常学級に在籍する慢性疾患等の児童生徒及び制度と関係機関
- 《第13週》 事例検討1：グループワークによる指導計画の検討①
- 《第14週》 病弱児と家族の不安やストレス及び子どもの「死」
- 《第15週》 事例検討2：グループワークによる指導計画の検討②

【成績評価の方法・基準等】

レポート（評価割合85%）、出席状況（評価割合15%）で評価する。

【テキスト・教材・参考書等】

テキストは使用せず、講義資料を毎回配布する。

参考書：宮本信也、土橋圭子編「病弱・虚弱児の医療・療育・教育 改訂2版」金芳堂（2010）

全国病弱教育研究会編著「病気の子どもの教育入門」クリエイツかもがわ（2013）

小野次朗、西牧謙吾、榊原洋一編著「特別支援教育に生かす病弱児の生理・病理・心理」ミネルヴァ書房（2011）

丹羽登監修「病弱教育における各教科等の指導」ジアース教育新社（2015）

【事前事後学修】

「代表的な疾患」については予習を必要とする。方法は授業中に解説する。

【その他】